
 日本国際理解教育学会 第32回研究大会（名古屋学院大学）開催のご案内

 プログラムおよび大会参加のご案内（第二報）

日本国際理解教育学会会長 永田 佳之
 第32回研究大会実行委員長 天野 幸輔

若葉のさわやかな季節となりました。学会員のみなさまにおかれましては、ご健勝のことと拝察いたします。4年ぶりの対面開催となります日本国際理解教育学会第32回研究大会には、自由研究発表75題（18分科会）のお申込みをいただき、盛況が予想されます。またプレイベントも6月29日（木）にすばらしいゲストをお迎えして、オンラインにて開催の運びとなりました。

本大会では、一人でも多くのみなさまの参加を可能とできますよう、締切を例年より延ばしてあります。みなさまの事前のお申し込みと積極的なご参加をお待ちしております。実行委員会スタッフは全力で準備させていただきます。

1 期 日：2023年7月1日（土）・7月2日（日）

※プレイベントは6月29日（木）オンライン、理事会は6月30日（金）開催

2 会 場：名古屋学院大学しろとりキャンパス（愛知県名古屋市熱田区熱田西町1-25）

名古屋キャンパスのしろとりキャンパスです。

金山駅からタクシー等でお越しの場合には、「しろとりキャンパス」とお伝えください。

初日は曙館（あけぼのかん）、2日目は希館（のぞみかん）です。

3 主 催：日本国際理解教育学会

4 共 催：名古屋学院大学

5 後 援（予定）：愛知県教育委員会、名古屋市教育委員会

6 日 程：

(1)第1日目 7月1日（土）曙館

9:30 10:00 12:00 13:00 14:00 17:00 17:30 19:00

受付	自由研究発表 各教室	休憩	総会	公開シンポジウム 総会とも101教室	移動	情報交換会 食堂
----	---------------	----	----	-----------------------	----	-------------

※発表者は9:30より会場で動作確認等ができます。

(2)第2日目 7月2日（日）希館

9:00 9:30 12:00 13:00 16:00

受付	自由研究発表 各教室	休憩	特定課題研究 201教室
----	---------------	----	-----------------

※発表者は9:00より会場で動作確認等ができます。

全日とも学内食堂・コンビニは閉店です。昼食をご持参ください。

7 プレイベント (6月29日)

「ウクライナでの「戦争」にどのように向き合うか」

<趣旨>

ウクライナでの「戦争」が始まって1年半近くが経とうとしている。この間、本学会では「平和の文化連続トーク」や「ユネスコ・カフェ」などを通してこの問題に取り組んできたものの、学校内外での現場からは「今も起きている『戦争』について若者と一緒に考えたいのに、どう実践してよいのか分からない」という声が絶えず聞こえてくる。本プレイベントをこうした声に応答する一助としたい。

◆日時：6月29日(木) 19:30 - 21:30

◆形式：オンラインのみ

◆参加登録：グーグルフォーム(大会ホームページ、右QRコードより申込み)

◆参加者：会員もしくは名古屋大会の参加費を支払っている非会員

◆参加費：無料

◆主催：名古屋学院大学 / 協力：日本国際理解教育学会重点課題事業委員会

◆プログラム

1. 挨拶：天野幸輔大会委員長(名古屋学院大学)
2. 実践報告1:中許竜宏(湘南学園小学校) / 住田昌治(湘南学園長) / 神澤清(社会活動家)
3. 実践報告2:和井田祐司(大阪暁光高等学校教諭)
4. 実践報告3:畠山尚之(大阪教育大学附属高校池田校舎教諭)
5. コメント：工藤泰三(名古屋学院大学) / 伊井直比呂(大阪公立大学)
6. グループトーク
7. 閉会挨拶：永田佳之学会会長(聖心女子大学)



8 総会

曙館101教室です。会員のみなさまはご参集ください。

名古屋学院大学学長あいさつが予定されております。



9 公開シンポジウム

総会と同じ曙館101教室です。市民参加登録は右のQRコードか大会専用HPより可能です。

「在外教育施設(日本人学校)における「国際理解教育・現地理解教育」から考える今、ここの平和教育」

◆シンポジスト：

杉田 洋 氏(國學院大學教授、元・文部科学省特別活動教科調査官)

片桐 里香 氏(上海日本人学校虹橋校、新潟県派遣、原籍校：長岡市立希望が丘小学校)

沖本 美佳 氏(広島市立戸坂城山小学校、2018.4~2021.3 ヤンゴン日本人学校(ミャンマー)派遣)

百々 昌男 氏(北名古屋市立師勝中学校、2019.4~2022.3 カラチ日本人学校(パキスタン)派遣)

◆政策動向報告：

北原 龍之介 氏(名古屋学院大学外国語学部4年生)

◆指定論者：

見世 千賀子 会員（東京学芸大学）

◆コーディネータ：

天野 幸輔 会員（名古屋学院大学）

※片桐氏は派遣中のため、オンライン参加です。

10 情報交換会

シンポジウム会場と同じフロアの食堂で行います。できる限り、事前のお申し込みをお願いします。

◆司会：

林 敏博 会員（名古屋市立大学）

山本 典弘 会員（みやこ幼稚園園長、愛知県海外子女教育国際理解教育研究協議会顧問）

11 特定課題研究

希館 201 教室です。

13：00～13：10 趣旨説明

13：10～14：40 第1部 プロジェクト（分科会）報告

1. 外国語教育と国際理解教育：石森広美 他

2. 教員養成と国際理解教育：市瀬智紀 他

3. 地域の多文化化と国際理解教育：南雲勇多 他

14：40～15：00 質疑応答・問いの共有

15：10～16：00 第2部 グループ（分科会別）討論/シェアリング

12 参加申し込みおよび参加費

大会参加事前申し込みは6月16日（金）締切です。大会 HP よりご入力後、振り込みをお願いします。なお一度お支払いいただきました金額は、返金致しかねますのでご了承ください。

(1)参加費	事前	学生・院生	2500 円	一般	3500 円
	当日	学生・院生	3000 円	一般	4000 円
(2)情報交換会	事前申込	学生・院生	3000 円	一般	4000 円
	当日	学生・院生	3500 円	一般	4500 円

(3)振込先

加入者名 ニホンコクサイリカイキョウイクガツカイダイ32カイケンキュウタイカイ
名古屋銀行（銀行コード 0543） 六番町支店（店番号 115）
口座番号（普通） 5009615 ※振込手数料は各自ご負担お願いします。

13 自由研究発表

(1)発表時間

持ち時間は30分（発表:20分、質疑応答10分）です。

(2)会場のデバイス対応仕様

プロジェクト、スクリーンはすべての会場に設置されています。PCをお使いの場合は、HDMI、USBType-C、D-sub 15pin をご利用になれます。ご自身の PC をご持参ください。

(3)プログラム

敬称略。申込時の入力データで作成しております。ご変更された方々は、ご発表冒頭にご対応を各自お願いします。抄録原稿につきましても、締め切り後にご提出の修正版には対応できません。

初日（曙館です。一番大きな建物です。）

分科会 1（603 教室） 【特別企画】「北東アジアにおける平和教育」

司会：小林亮（玉川大学）

コメンテータ：松井克行（西九州大学）、野島大輔（立命館大学）

発表：阿部裕子（東京福祉大学）、矢野淳一（伊豆の国市立大仁北小学校）、松倉紗野香（埼玉県立伊奈学園中学校）、藤井三和子（兵庫県立神戸商業高等学校）

分科会 2（604 教室） 司会：石森広美（北海道教育大学）、赤羽寿夫（東京学芸大学教職大学院）

1 石森広美（北海道教育大学）

多文化共生の阻害要因としてのマイクロアグレッションー教員養成課程学生への調査からみえてきたことー

2 赤羽寿夫（東京学芸大学教職大学院）

帰国児童生徒への IB 教育効果に関する研究

3 木村大輔（一般社団法人グローバル教育推進プロジェクト（GiFT）理事）

生徒の変容を促すための学びの考察 ～学外での『リアル』がもたらす影響や学ぶ動機付けが生徒の変容に与える影響について～

4 桑原敏典（岡山大学）

価値観の変容を促すグローバル・シティズンシップ教育（GCED）の学習指導のあり方ーアイデンティティの葛藤を取り入れたプログラム開発を通してー

分科会 3（605 教室） 司会：菊地かおり（筑波大学）、居城勝彦（東京学芸大学附属高等学校）

1 居城勝彦（東京学芸大学附属高等学校）

ウクレレ弾き歌いから太平洋に目を向ける試みー高等学校音楽における教材開発ー

2 山崎優菜（黒部市立村椿小学校）

絵本とクイズを活用した太平洋をテーマにした国際理解教育ー富山県の小学校1年生を対象としてー

3 東優也（海老名市立杉久保小学校）

太平洋市民意識を高める学習ー第3学年での単元構想ー

4 中山京子（帝京大学）

ポストコロナル時代における環太平洋意識の育成と連帯性を養う教材開発

分科会 4（610 教室） 司会：伊井直比呂（大阪公立大学）、風巻浩（東京都立大学）

1 佐野 真理子（大阪公立大学院生）

外国につながる児童生徒の学びと文部科学省の施策の課題ー学習言語を習得しない日本語教育ー

2 當銘美菜（目白大学）

外国につながる子どもの声を踏まえた保育・教育に求められる保育者のあり方

3 風巻浩（東京都立大学）

『「多文化共生教育」言説を源流から探る』

分科会 5（611 教室） 司会：林敏博（名古屋市立大学）、山本典弘（みやこ幼稚園、愛知県海外子女教育国際理解教育研究協議会顧問）

1 藤田ラウンド幸世（横浜市立大学）、謝敷勝美（宮古島市立北中学校）

言語継承プログラム「一日一語みゃーくふつ」の教育実践：沖縄県宮古島市での消滅危機言語のこばを育て、地域につなげる試み

2 守内映子（日本映画大学）

自分にしか書けないことを書く」物語の創作活動への支援の視点—留学生のシナリオ執筆における脚本家と日本語教師の異業種連携に着目して—

3 渡辺幸倫（相模女子大学）

フィリピン英語留学の研究：留学生へのインタビューから

4 荒川裕紀（明石工業高等専門学校）

日本における高校生長期交換留学の変遷史 —戦後から現在、そして未来への展望—

分科会 6（612 教室） 司会：森田真樹（立命館大学）、神田和可子（聖心女子大学）

1 織田雪江（同志社中学校・高等学校）

学びのアウトプットの方法を試行錯誤する —BTS の「原爆 T シャツ」を用いた日韓近代史の授業から—

2 中澤 純一（東京未来大学）

日系移民学習における「社会正義の実現」に焦点をあてた単元開発

3 久保 哲成（兵庫県立柏原高等学校・神戸学院大学）

地理総合における世界各地の生活文化を通じた国際理解教育の実践—A 社教科書の「イスラームを中心とした生活文化」における女性の着衣の違い(差異)から考える—

4 松村 淳（岩国市立御庄小学校）

焦点を絞った構造的比較」を組み込んだ歴史授業の開発—世界史探究・小单元「ウィーン体制」を事例として—

分科会 7（613 教室） 司会：工藤泰三（名古屋学院大学）、田中淳子（University of San Francisco）

1 井村記子（兵庫教育大学大学院 学校研究科）

グローバル・シティズンシップの育成を目指した探究学習 —共生の認識と行動を結びつけた実践をもとにして—

2 田中淳子（University of San Francisco）

ポスト・コロナ期の子どもの人権教育：アメリカの小学校におけるエスニック・スタディーズの実践と今後の課題

3 Hyekyung Park (Chungnam National University), Hwanbo Park (Chungnam National University), Hyesun Shin (Ansan Wongok Elementary School)

多文化特別学級における世界市民教育の実践事例研究

分科会 8 (614 教室) 司会：橋崎頼子 (奈良教育大学)、横田和子 (日本映画大学)

1 大崎 美佳 (広島女学院大学)

多言語多文化が交わるインターナショナルスクールにおける授業改善と評価 —国際バカロレア校の実践例からの示唆—

2 高松美紀 (東京学芸大学附属国際中等教育学校)

中学国語におけるメディア情報リテラシーと「ファクト」をめぐる実践—不確かな社会を生きる市民性の育成—

3 赫連茹玉 (岡山大学社会文化科学研究科)

「内」と「外」という認識を超える国際共修授業—平等と教育格差に焦点を当てて—

4 横田和子 (日本映画大学)

平和をめぐる国際共修授業の試み—ピースウォッシングに加担しないために

分科会 9 (615 教室) 司会：釜田 聡 (上越教育大学)、岩坂泰子 (同志社女子大学)

1 増田有貴 (上越教育大学教職大学院・村上市立荒川中学校)

自己変容の契機をつくる国際理解ワークショップ—「教室からつながる世界」の教材開発と実践を通して—

2 菊地恵美子 (東北大学)

ユネスコスクール平和教育実践 —英語俳句短冊作成、広島平和スピーチ分析活動から—

3 山田文乃 (兵庫教育大学大学院連合学校教育学研究所／立命館大学)

国際理解教育の授業研究会後に設定された教員研修での講師の役割—公立小学校でのオートエスノグラフィー—

4 関 愛 (筑波大学大学院・院生)

高等学校の「総合的な探究の時間」にみる国際理解教育の位置付け—学習指導要領及び解説の分析を通して—

2日め (希館です。2つの建物の向かって左側の方です。)

分科会 10 (202 教室) 司会：山西優二 (早稲田大学)、南雲 勇多 (東日本国際大学)

1 中原滯佳 (新潟大学博士研究員)

参加型・対話型教育に求められる教育者の倫理 —パウロ・フレイレの再読をつうじて—

2 林加奈子 (桜美林大学)

「平和の文化」創造に向けた国際理解教育と社会教育／生涯学習

3 南雲 勇多 (東日本国際大学)

地域の多文化化に関する理解の批判的検討 —変化の様相と所在に着目して

4 岩橋嘉大 (兵庫教育大学連合大学院)

21世紀における未来を構想する教育についての研究 —未来学の歴史的経緯と現代の到達点を基盤として—

分科会 11 (203 教室) 司会：市瀬智樹 (宮城教育大学)、由井 一成 (早稲田大学)

- 1 畠山尚之 (大阪教育大学附属高等学校池田校舎)
ユネスコスクールネットワークの活動が参加者に及ぼす影響 ―大阪・関西 ASPnet における持続可能な開発のための教育 (ESD) をテーマとした学び合いに対する質的研究―
- 2 由井 一成 (早稲田大学)
カナダ ブリティッシュ・コロンビア州のグローバル・シティズンシップ教育 ～TRC 勧告とカリキュラム変遷～
- 3 蒙亮羽 (聖心女子大学大学院)
中国における環境教育の発展
- 4 橋本拓夢 (広島大学大学院・院生/日本学術振興会特別研究員 DC)、川本吉太郎 (広島大学大学院・院生)、太田淳平 (広島大学大学院・院生)、高須明根 (広島大学大学院・院生)、田口直也 (AIC 国際学院京都初等部・教諭)、服部美紀 (広島大学大学院・院生)、藤原由佳 (ふじわらゆか) 広島大学大学院・院生
現地法に規定される日本人学校―タイ私立学校法制における外国人学校関連規定の分析―
- 5 金 玆辰 (筑波大学)
共通の課題解決のための日韓大学生によるオンラインセミナーの成果と課題

分科会 12 (204 教室) 司会：安達理恵 (椋山女学園大学)、坪田益美 (東北学院大学)

- 1 安達理恵 (椋山女学園大学)
小学校における外国語教育と異文化理解
- 2 中 陽佑 (奈良市立都祁小学校)
小学校外国語科における世界地図を活用した国際理解教育に関する実践 ～児童が持つ知識の相対化を目指して～
- 3 杉本孝美 (大阪総合保育大学)、山川智子 (文教大学)、中井精一 (大阪教育大学・非常勤)
一人ひとりの複言語能力を育むための外国語教育―こどもの視点から
- 4 寺村優里 (京都大学人間・環境学研究科博士課程)
複言語に生きる子どもの Language Awareness について

分科会 13 (401 教室) 司会：曾我幸代 (名古屋市立大学)、森田育志 (神戸大学附属中等教育学校/大阪公立大学・院生)

- 1 吉野華恵 (東京大学大学院教育学研究科)、糟谷理恵子 (山梨英和中学校・高等学校)
グローバル・シティズン形成におけるグローバルとローカルの接続プロセス ―高等学校における探究学習を事例として―
- 2 森田育志 (神戸大学附属中等教育学校/大阪公立大学・院生)
学習者のニーズと教科の学びを接合した ESD に関する実践的研究
- 3 堀江理砂 (東京都世田谷区立赤堤小学校)
ESD で自尊心を高める―小学校家庭科実践―
- 4 石井諒 (東京工科大学大学院バイオ・情報メディア研究科メディアサイエンス専攻)、飯沼瑞穂 (東京工科大学)

SDGs 教育のための親子向けソーシャルデザインワークショップの実施と評価

分科会 14 (402 教室) 司会：桐谷正信 (埼玉大学)、清水和久 (金沢星稜大学人間科学部)

1 吉田夏帆 (兵庫教育大学大学院)

ICT を活用した高校外国語科における国際理解教育実践の開発と評価——カンボジア・ネパールの高校生とのオンデマンド動画交流の事例

2 岸本直子 (早稲田摂陵高校)

日韓教員でつくる「18 歳成人」をテーマとした高等学校での授業実践 ～2022 年度 APCEIU 主催「日韓教員交流ネットワーク」を契機として～

3 清水和久 (金沢星稜大学人間科学部)

国際協働学習における主体的な学びのために Teddy Bear Project(TBP)を通して

4 平澤香織 (早稲田大学大学院教育学研究科、横浜市立東高等学校)

主題：中学校社会科地理的分野における授業実践、副題：フィンランドからのリアルタイム配信を活用して

5 阿部始子 (東京学芸大学)

日本とドイツの小学生の国際協働学習の提案—地球市民を育てる小学校外国語教育のアクションリサーチ—

分科会 15 (403 教室) 司会：藤原孝章 (同志社女子大学)、中山京子 (帝京大学)

1 KIM Sunmi (Chung-ang University)、Yi, Kyeong Han (Jeonju National University of Education)、KIM Jong-Hun (APCEIU)、Kim Dawon (Gwangju National University of Education)

ストーリーテリングを活用した日中韓の世界市民教育の授業研究

2 Cho Soojin (Daejeon Daeyang Elementary School)、Hong Jiin (Jeongeupnam Elementary School)、Park Se Eun (Gwangju Duam Elementary School)、Jang Jina (Seoul Namyong Elementary School)

Storytelling project Teaching and Learning Plan of Cultural Diversity Education and ESD

3 山崎優菜 (黒部市立村椿小学校)

小学校高学年を対象にしたストーリーテリングをとり入れた国際理解教育 —児童図書「地球を救うごみゼロ大作戦」と「プラスチックの島」を活用して—

4 Liu Ye (Beijing Normal University)、Jiang yingmin、Shen Chen、Wu Yijing

Storytelling Project Cultural Diversity Education Plan “Eric——Tales from Outer Suburbia”

5 Li Su (Beijing Normal University)、Jiang yingmin、Li Dien、Wu Huijuan、Wang Xinyi

Story telling project Sustainable Development Education Plan “Sudan, The Last Northern White Rhino”

分科会 16 (404 教室) 司会：松倉紗野香 (埼玉県立伊奈学園中学校・上智大学)、中島 義和 (広島女学院大学)

1 宇土泰寛 (椋山女学園大学)

大陸間 SDGs 教育プロジェクトの新たなステージ教育+行動 (action) ～フィリピン支援交流を中心に～

2 中島 義和 (広島女学院大学)

英語科と総合的な学習の時間をつなげる SDGs カリキュラムの開発 —「ノシアック」サイクルで学習者の学習動機・WTC の向上を目指して—

- 3 佐々木 織恵 (国立社会保障人口問題研究所)、平澤香織 (早稲田大学教育学研究科院生、横浜市現職教員)

教師の ESD 実践を支える要因に関する考察 —横浜市の ESD 推進校における教師への聞き取りから—

- 4 松倉紗野香 (埼玉県立伊奈学園中学校・上智大学)

ESD に関わる教師の教育観の変容に関する研究 —中学校における総合的な学習の時間を事例に—

- 5 丸山英樹 (上智大学)

「2050 年の教育と社会」ワークにみる「深い ESD」

分科会 17 (405 教室) 司会：森茂岳雄 (前中央大学)、小林亮 (玉川大学)

- 1 森茂岳雄 (前中央大学)、青木香代子 (茨城大学)

社会正義をめざす教師教育プログラム開発の視点—教師の変容を促す教育実践にむけて—

- 2 岩船尚貴 (上越教育大学附属中学校)、佐藤大輔 (上越教育大学附属中学校)

オンラインによる国際交流の課題を乗り越える授業デザイン—教員アンケートと「異己」理解・共生授業プロジェクトの実践から—

- 3 大滝 修 (東京経済大学)

Global 化・多文化化を教員に —国際理解教育の担い手育成のために—

- 4 小林亮 (玉川大学)

地球市民性の育成に向けた「正義の対立」への対処スキルの検討 — 教師教育ワークショップの実践から

分科会 17 (405 教室) 司会：嶺井 明子 (前筑波大学)、手嶋 将博 (文教大学)

- 1 天野幸輔 (名古屋学院大学)

総合的な学習 (探究) の時間「各学校において定める目標及び容の取扱い」における「国際理解」 — 政策研究プロジェクトの成果から—

- 2 手嶋 将博 (文教大学)

国際理解教育の研修・実践の動向と課題—埼玉県の事例より—

- 3 嶺井 明子 (元筑波大学)

「国際理解教育は死語か」：日本の「国際理解教育」政策を問う —2019-2021「研究・実践委員会 (政策研究プロジェクト)」の成果を踏まえて—

- 4 阿部裕子 (東京福祉大学大学院)、大山正博 (武庫川女子大学)、永田佳之 (聖心女子大学)

1974 年国際教育勧告を捉え直す～ユネスコ本部及び文部科学省 (日本ユネスコ国内委員会) の資料分析から

- 5 永田佳之 (聖心女子大学)、安藤穂乃佳 (聖心女子大学院生)

アートは〈平和の文化〉に貢献できるのか—ウクライナ及びロシアの子ども絵画を鑑賞した大学生アンケートの分析と課題—

14 留意点等

- (1) 詳しい内容や最新の情報は、大会専用ホームページでご確認ください。学会ホームページにリンクされています。
- (2) 初日と2日目で使用する校舎が異なります。2日目は、初日の校舎が試験会場になりますので、ご注意ください。
- (3) 昼食時を含めて、学内の食堂、コンビニは閉店しています。2日間とも昼食をご持参ください。
- (4) プレイベントの参加条件をよくご確認ください。
- (5) お名前、ご所属等に誤りがありましたら、謹んで訂正させていただきます。ご一報ください。
- (6) 事前申し込み締切後に代金を振り込まれました場合は、必ず振り込みの半券等、証明できるものをご持参ください。お持ちでない場合は、再度お支払いいただくことがあります。

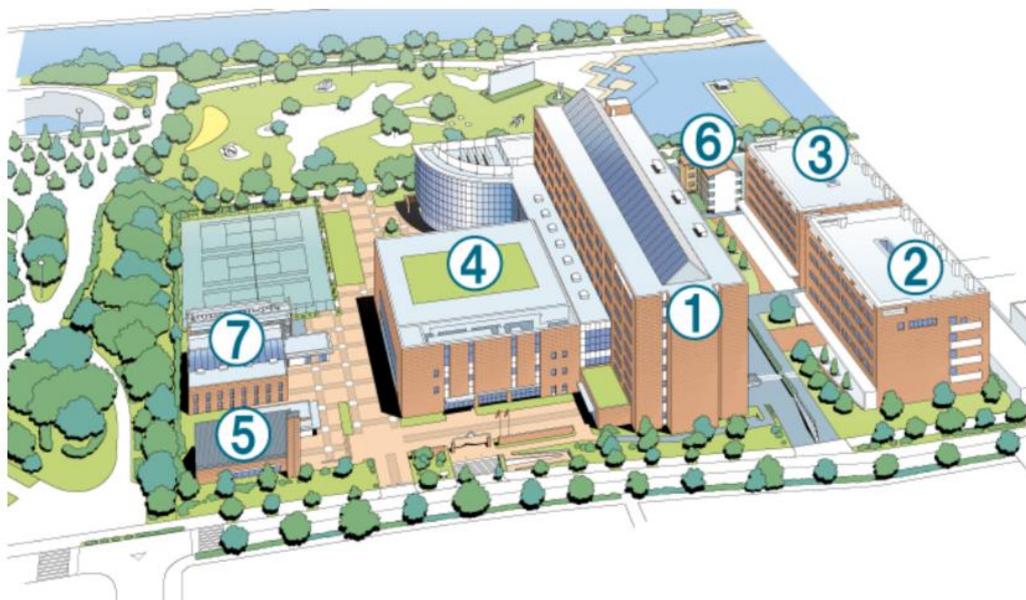
【問い合わせ先】

日本国際理解教育学会第32回研究大会実行委員会事務局
〒456-8612 愛知県名古屋市熱田区熱田西町1番25号
名古屋学院大学 外国語学部 天野研究室気付

e-mail: kenkyutai2023@gmail.com

大会に関するお問い合わせは、上記アドレスへメールでお願いします。

名古屋キャンパスしろとり



7月1日(土)上図「①曙館(あけぼのかん)」7月2日(日)上図「③希館(のぞみかん)」
 地下鉄でのご来学には、日比野駅(ひびのえき)をお勧めします。

名古屋キャンパスしろとり

〒456-8612 愛知県名古屋市熱田区熱田西町1番25号

◆「日比野」駅下車

1番出口を出て真っすぐ進み、最初の信号(名古屋国際会議場北)を右へ約500m。

◆「西高蔵」駅下車

2番出口から名古屋国際会議場方面へ進み、橋を渡り最初の信号(名古屋国際会議場北)を左へ約500m。

名古屋キャンパスたいほう

〒456-0062 愛知県名古屋市熱田区大宝二丁目4番45号

◆「日比野」駅下車

1番出口を出てすぐ左へ(日比野交差点方面)。信号交差点を渡らず左へ約400m。

◆「西高蔵」駅下車

2番出口から名古屋国際会議場方面へ進み、橋を渡り2つ目の信号交差点(日比野交差点)を渡らず左へ約400m。

名古屋キャンパスひびの

〒456-0062 愛知県名古屋市熱田区大宝三丁目1番17号

◆「日比野」駅下車

5番出口上がってすぐ。

※エレベータを利用する場合は、改札を出てすぐ右手。

